

【2024年度事業概略】

- ① 「創造性豊かな世界市民の育成」を指向し、各種施策を検討、実施した。
スーパーグローバルハイスクールなどを通して得た経験を活かしグローバルリーダーを育成。
- ② 学事面では小中高（12年間一貫）を教育の柱とし、生徒・児童の発達段階に応じた、きめ細やかな教育（育み）を根幹に、創価大学、アメリカ創価大学、創価インターナショナルスクール・マレーシアとの連携も強化し、創価教育の更なる充実に取り組む。また文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に対応すべく、全生徒・児童へ一人一台の情報端末を配備。加えてネットワーク環境の充実に努めた。
- ③ 全額給付型の奨学金制度を継続し、経済面でのサポートを実施。
（１）家計急変世帯に対する奨学金制度を継続。
（２）寮生・下宿生全員に昼食支援並びに、都外・大阪府外から通学する児童・生徒に通学定期代相当の支援を実施等、安心できる学園生活を提供。
- ④ 安全安心対策の視点から施設設備の点検・補改修を行い、生徒・児童・園児が安心して学園生活を送れるよう整備を行った。
- ⑤ 学園全体の中長期教育ビジョン策定を推進。
「創造性豊かな世界市民の育成」実現のため、更なる教育力の向上と世界市民の育成を目指し、中長期的な経営ビジョン・教育戦略の立案・策定を教育コンサルを活用し、推進。
- ⑥ 東京キャンパスにおける「総合整備基本計画」の基本設計に基づき、東京創価小学校の新校舎建設他実施設計を策定。創立60周年へ、関西キャンパスにおいては校舎等の補改修工事を計画的に実施。

以下、主な事業について報告する。

1. 諸施設の整備・改修工事等について

- | | | | | |
|--|----------|-------------------------|----|-------------|
| ① | 東西創価中学高校 | 新入生情報端末購入並びに東西小学校情報端末更新 | 総額 | 98,714,740円 |
| <p>中学高校新入生に対し、情報端末(Chromebook)をICT奨学金として現物支給するため東西の新中学1年生、新高校1年生分のChromebookを購入。また、2020年度に貸与した小学校の情報端末が経年劣化したため、小学校3学年分の情報端末を更新。</p> | | | | |
| ② | 東西創価高校 | スタディサプリ契約更新 | 総額 | 12,301,520円 |
| <p>・1人1台のタブレット環境の活用方法として、スタディサプリを導入し、生徒1人ひとりに対しての学びのサポートを強化。</p> | | | | |

③ 東京学園 東京創価小学校 新校舎建設他実施設計業務委託 総額 158,400,000円

- ・東京学園総合整備計画について、2024年1月に基本設計が完成。総合整備計画に基づき、東京創価小学校の新校舎建設に向けた実施設計を業務委託した。



④ 東京学園 総合整備発注者支援他業務委託 総額 33,000,000円

- ・東京学園総合整備計画について、東京創価小学校の実実施設計後に施工者選定等の発注者支援業務を委託。

⑤ 創価高校 東大和グラウンド人工芝更新工事 総額 187,000,000円

- ・2010年より13年経過し、外野敷設の人工芝が経年劣化により表面が摩耗し、滑りやすい状況になっているため、更新。

⑥ 創価高校 友舞寮北側隣接地購入 総額 170,445,000円

- ・2024年4月より開寮した創価高校女子寮「友舞寮」の北側隣接地について、将来の第2女子寮候補地として最適のため購入。

⑦ 創価高校 栄冠ホール映像配信機器更新工事 総額 9,641,500円

- ・機器導入より14年が経過しており、日常の授業等でも使用しているため、今回、アナログからデジタル化し、多用途に活用できるように機器を更新。

⑧ 創価高校 池田講堂舞台照明設備更新工事 総額 8,327,000円

- ・池田講堂の舞台照明設備が設置より39年経過し、経年劣化による不具合が多発しているため照明設備もLED化し、更新工事を実施。

⑨ 創価中学校 特別教室プロジェクター更新工事 総額 10,725,000円

- ・導入より経年（教室により7～13年の経過）しているため、既存の黒板等から単焦点プロジェクターとホワイトボードに更新。

⑩ 東京創価小学校 池田体育館・プール屋上防水改修工事 総額 45,837,000円

- ・2009年竣工から14年が経過したため屋上防水工事を実施。プール屋根等に使用しているトップライト用の屋根FRP（強化プラスチック）を取替え更新し、玄関の柱も塗装補修を実施。

⑪ 関西創価中学高校 旧金星寮解体工事 総額 320,578,500円

- ・当初2022年度解体を予定していたが、保全改修工事が1年延期したため今年度解体工事を実施。

⑫ 関西創価中学高校 第3グラウンド（現地借地）購入 総額 206,704,597円

- ・授業及びクラブ活動での稼働率が高いため、今後の教育活動充実のため土地購入計画に基づき購入。

⑬ 関西創価中学高校 中学グラウンド及び第3グラウンドの一部（現賃借地）購入	総額	188,686,815円
・ 当地購入により北側と西側にある学校所有地と地続きとなり段差を活かした諸活動のニーズに合ったグラウンド整備が可能なため、土地購入計画に基づき購入。		
⑭ 関西創価中学高校 テニスコート及び教職員駐車場（現賃借地）購入	総額	166,629,157円
・ 当地購入により学校所有地と地続きとなり整備が可能となるため、土地購入計画に基づき購入。		
⑮ 関西創価中学高校 体育館棟・創武館空調設備工事	総額	157,641,000円
・ 近年の猛暑により、体育施設での熱中症対策のため、大体育館、中体育館、卓球室に空調設備の新設、創武館の空調設備の更新を実施。		
⑯ 関西創価中学高校 金星寮管理業務委託	総額	34,730,740円
・ 管理体制の充実、教職員の働き方改革を推進するため寮管理委託業者に業務委託を実施。		
⑰ 関西創価中学高校 講堂舞台照明設備改修工事	総額	21,340,000円
・ 昭和61年竣工から更新していない照明器具や部品の生産中止に伴い修理ができていない機器を優先度の高い調光装置のメイン基盤等から改修工事を実施。		
⑱ 関西創価中学高校 ネットワーク機器購入	総額	10,476,400円
・ 既存機器（2014年設置・10年経過）の経年劣化ならびに校内モバイル端末増加に伴うネットワーク増強のため、機器の取替を実施。		
⑲ 関西創価中学高校 プール更衣室改修工事	総額	9,900,000円
・ 完成から30年経過し、スチールロッカーのサビによる劣化、排水溝が無いことによる衛生的問題等を解決するため更衣室の改修工事を実施。		
⑳ 関西創価高校 職員室他改修工事	総額	20,020,000円
・ 昨年の中高職員室の分離に伴う高校職員室の空間有効活用を目的とした改修工事を実施。		
㉑ 関西創価中学校 職員室屋上テラス改修工事	総額	6,930,000円
・ 生徒との懇談スペースを確保するため、図書館棟屋上テラスを安全対策を講じた上で改修工事を実施。		
㉒ 法人本部 学園会館GHP更新工事	総額	6,050,000円
・ 学園会館北側棟の空調について設置より17年半が経過し、劣化や不調が見られるため更新工事を実施。		
㉓ 創価学園 財務・人事コンサルティング費用	総額	33,000,000円
・ 2030年「創価教育100周年」また、今後の中長期にわたる総合整備計画等を見越し、外部コンサル業者の豊富な経験とデータに基づく多角的な分析を活用し、さらなる財政基盤の強化、経営の健全化を図り、中長期の財務戦略を立案・策定するとともに、人事制度設計における現状分析を実施。		
㉔ 創価学園 中長期教育ビジョン策定コンサルティング費用	総額	13,200,000円
・ 2030年「創価教育100周年」を目指し、創価学園ミッション「創造性豊かな世界市民の育成」実現のため、さらなる教育力の向上を目指した中長期的な視点で、教育ビジョン・経営戦略を立案。		

2. 教育事業・一貫教育連携の充実について

① 創立精神深化を育む各種施策の推進

- ・ 「創立者とともに」（創立精神・年表編）を改訂し、学園生の創立精神深化に努めた。
- ・ 学園三大行事（英知・栄光・情熱の日記念行事）への取り組みについて、行事を開催するねらいを明確にし、工夫して実施。



② 小中高の12年間一貫教育を生かした教育の充実

- ・ キャリア教育や個別の進路指導により、創価大学、創価女子短期大学をはじめ、国公立大学、海外の大学に優秀な人材を輩出。
- ・ 小学校から中学校、中学校から高校への進学をスムーズに接続させるブリッジプログラムの充実を図った。
- ・ 第35回創価芸術展は、創価大学（本展）、四国展（香川）、関西展（滋賀）、首都圏展を開催。合わせてオンライン展も実施した。

③ 創価大学・SUA（アメリカ創価大学）・海外創価学園との連携のもと、創価教育を推進

- ・ 創価大学、創価女子短期大学との連携プログラムの充実を図り、推進した。
- ・ 創価大学の単位が高校で履修できる「データサイエンス入門」の講座を東西高で開講。
- ・ 東西の高校生が創価インターナショナルスクール・マレーシアとの交流を実施。
- ・ 東西の中学生が、アメリカ創価大学で語学研修を実施。ブラジル創価学園の生徒とも交流。
- ・ 札幌創価幼稚園が韓国・幸福幼稚園との交流を実施。

④ 生命尊厳の理念のもと世界市民教育・平和教育を推進

- ・ 東西高が国内外でのフィールドワークを通して平和教育を推進。
- ・ 関西学園でNASA・宇宙教育プログラムへの参加による環境教育の推進。
- ・ 世界市民教育研究所を発足し、学園全体として世界市民育成の教育を推進。

⑤ 幼稚園から小中高全校で、読書教育を推進

⑥ 教職員・管理栄養士等が協力して食育の取り組みを推進

⑦ 友情を育む、クラブの取り組みを推進

- ・ 東京中高・創価雄弁会、関西中高・ディベート部、東西高・箏曲部、東京高・関西中高・ダンス部、関西高・英語ディベート部・囲碁部・陸上部・駅伝部・模擬国連部、関西中・吹奏楽部・陸上部、関西小・アンジェリック・ブラスバンド等が全国大会に出場。



⑧ 世界市民育成の取り組み

- ・東西のキャンパスに創価学会インターナショナル(SGI)のメンバーを迎え、交流を深めた。
- ・東京高はG C I S (世界市民探究)を通して、SGDsにつながる地球規模課題の解決に向けた探究活動に取り組んだ。
- ・関西高は全員で取り組むGRIT (探究型総合学習プログラム) のカリキュラムの充実を図った。



⑨ 防災・安全・安心の教育環境を充実

- ・通学時の安全のための、「安全教育」「マナー講座」を実施。
- ・防災訓練を定期的に開催し、避難経路の確認や安全点検を充実。
- ・スマートフォンやSNS利用の際のマナーについて学習し、意識を高めた。
- ・緊急対応等のセーフティネットを強化。

⑩ 札幌創価幼稚園 きめ細やかな園児対応

- ・「きょういくポリシー」を新たに策定し、創立精神に根差した保育の実践に取り組んだ。
- ・「遊び中心の保育」を推進し、「心の根っこを育む」との教育目標から、「自己肯定感を育む保育」を目指し、一人ひとりを大切にする幼児教育に注力した。



3. 国際交流について

① 海外からの表彰

- ・卒業式において、卒業生代表に、インド・マカオ・中国より表彰を頂戴した。

② 国際交流

- ・東西の高校生が、クリティカルイシューズフォーラム(CIF)に参加した。
- ・関西の高校生が、中国の南開中学とのオンライン交流会を行った。教職員の代表が南開中学を訪問し、今後の交流について協議した。
- ・東西の高校生が、マレーシア公開大学で語学研修を実施した。
- ・海外の大学等から多くの来校者を迎え、交流を深めた。

4. 生徒・児童・園児支援について

① 奨学金の充実

- ・池田育英奨学制度・牧口奨学制度をはじめ、各種奨学制度を実施し、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

② 寮生・下宿生への支援充実

- ・地方から来ている寮生・下宿生の保護者の経済的負担を軽減するため、寮生・下宿生全員の昼食支援制度を継続。

<支給実績>

池田育英奨学制度	51,300,000円
鳳雛入学時奨学制度	2,760,000円
牧口記念教育基金会奨学制度	67,300,000円
寮生・下宿生奨学制度	103,438,754円
きょうだい同時在籍者奨学制度	18,800,000円
希望奨学金	13,019,853円
鳳雛奨学制度	6,000,000円
都内・府外安心奨学制度	83,078,298円
ICT奨学金	54,293,500円
合計	399,990,405円

<原資内訳>

第3号基本金引当特定資産 利息	76,852,412円
就学支援基金引当特定資産 利息	263,799,404円
牧口記念教育基金会 寄付	40,000,000円
卒業生 寄付	19,338,589円
合計	399,990,405円

<奨学制度実績>

- ・ 池田育英奨学制度
 - 対 象：創立精神を堅持し、人物成績優秀もしくは諸活動での貢献顕著な者
 - 人 数：高校生 東西合計114名
 - 支給額：45万円支給
 - 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
 - 支給実績：51,300,000円
- ・ 鳳雛入学時奨学制度
 - 対 象：人物成績優秀者
 - 人 数：高校生 東西合計8名
 - 支給額：東京高 36万円／関西高 33万円
 - 資 金：卒業生寄付
 - 支給実績：2,760,000円
- ・ 牧口記念教育基金会奨学制度
 - 対 象：奨学金を望む者（小・中学生：年収590万円以下めやす）
 - 人 数：小学生・中学生 東西合計372名
 - 【東京】109名（29.3％）※全体比
 - 【関西】263名（70.7％）※全体比
 - 支給額：小学生 15万円／中学生 20万円
 - 資 金：牧口記念教育基金会寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：67,300,000円
- ・ 寮生・下宿生奨学制度
 - 対 象：寮生・下宿生（中学・高校生）
 - 人 数：イ）寮生・下宿生全員
 - ロ）寮生・下宿生で収入基準を満たし奨学金を望む物（年収590万円以下目安）
（人数は2025年3月現在）
東西合計147名
【東京】 51名 【関西】 96名
 - ハ）寮生・下宿生で収入基準を満たし奨学金を望む物（年収590万円超910万円以下目安）
（人数は2025年3月現在）
東西合計137名
【東京】 63名 【関西】 74名
 - 支給額：イ）中学給食代金・高校昼食代・食券を支給
ロ）寄宿舎費全額免除
ハ）寄宿舎費半額免除
 - 資 金：卒業生寄付・就学支援基金引当特定資産利息
 - 支給実績：103,438,754円

- ・ きょうだい同時在籍者奨学制度
 対 象：受験合格者のうち創価学園（幼稚園除く）に入学する者の兄弟姉妹が、入学年度に創価学園（幼稚園除く）に在籍している場合で、奨学金を望む者
 人 数：小学生・中学生・高校生 東西合計188名
 【東京】88名 【関西】100名
 支給額：10万円支給
 資 金：第3号基本金引当特定資産利息・就学支援基金引当特定資産利息
支給実績：18,800,000円
- ・ 希望奨学制度
 対 象：家計中心者の死亡・リストラ・廃業・疾病により失職（自己都合を除く）した場合
 人 数：東西合計47名
 【東京】11名 【関西】36名
 支給額：①学費全額免除（死亡の場合は学園が設置する高校まで。他は最長12ヵ月）
 ②通学生 食事代、交通費（寄宿舎費相当額上限）
 ③寮・下宿生 寮費、下宿代支給
 資 金：第3号基本金引当特定資産利息
支給実績：13,019,853円
- ・ 鳳雛奨学制度（前期・後期）
 対 象：創立精神を堅持し、人物成績優秀な者
 人 数：東西合計60名
 【東京】30名（前期・後期選考各15名）
 【関西】30名（前期・後期選考各15名）
 支給額：10万円支給
 資 金：卒業生寄付・就学支援基金引当特定資産利息
支給実績：6,000,000円
- ・ 都外・府外安心奨学制度（前期・後期）
 対 象：都外（東京校）・大阪府外（関西校）に在住しており、通学定期券を利用して学園に通学し、奨学金を望む者（小・中・高生）
 人 数：東西合計延べ 1,612名
 【東京】前期選考 390名／後期選考 383名
 【関西】前期選考 426名／後期選考 413名
 支給額：別途定めた算出方法により定期代相当額を支給（寄宿舎費相当額上限）
 資 金：就学支援基金引当特定資産利息
支給実績：83,078,298円

5. 生徒・児童・園児募集について

① オープンキャンパス・学校説明会・入試説明会の開催

- ・ 東西学園でのオープンキャンパス開催をはじめ、各地域で開催された学校説明会等に教職員を派遣し、小中学生・未就学児への激励と保護者への説明を実施。

6. 広報・地域貢献活動について

① 学園メイト加入を推進

- ・ 全国の小中学生及び受験希望支援者を対象に、「学園メイト」制度（登録無料）を2009年度より開始。登録者数は1,000名を超え、広報活動の大切な基盤となっている。
 学園レター（年3回）、学園グッズを学園メイト登録者全員に贈呈。

② 駅広告看板の設置

- ・ 東西、札幌の学園最寄り駅をはじめとする、近隣主要駅広告を通し、広報活動を推進。

③ 創価芸術展の開催

- ・生徒・児童・園児が日頃の授業、クラブ活動で作成した絵画、書道、写真、陶芸等を展示。作品を通じて地域・社会に本学園が取り組んでいる人間教育への深い理解と関心を広げている。
- ・2024年度は、創価大学での本展と四国展（香川）、関西展（滋賀）、首都圏展を開催。

＜会場別鑑賞者数＞

	会場	鑑賞者数
本展	創価大学	7,539 名
四国展	香川県	2,496 名
関西展	滋賀県	1,368 名
首都圏展	東京都	5,652 名

合計	17,055 名
----	----------

- ・本展・巡回展とともにオンライン展も開催
総鑑賞者総数：67,000名（参考）2023年度：85,300名、2022年度：34,614名
主な海外閲覧地域：アメリカ、韓国、ブラジル、マレーシアなど



7. 創価教育センターの活動について

① 学事面における創価一貫教育を推進

- ・学事推進会議を開催し、各校・園の学事推進を図った。
- ・教育内容の更なる正則化と向上を図るため学事便覧を改訂した。
- ・創価大学との定例会議を開催し、連携プログラムや各種情報の共有や調整を行い、諸行事がスムーズに実施できるようにした。

② グローバルリーダー輩出の取り組みを推進

- ・東西高がユネスコスクールとして認定され、他のユネスコスクールとのネットワークを結び、世界市民育成の取り組みを推進。
- ・東西の高校生が、文部科学省が実施している「全国高校生フォーラム」に出場した。

③ 教職員の育成と研修を推進

- ・校長会・事務長会で教育情報を提供した。
- ・管理職登用者に向けたオンライン研修の受講制度を導入し、資質の向上に努めた。
- ・副校長教頭会を開催し、研修として充実させた。
- ・若手教職員の研修を充実させた。（内定者、新任、勤続2年、勤続5年、勤続10年）
- ・ミドル研修を開催し、教員の資質向上を図った。
- ・全教職員対象に、テレビ会議を活用して、研修会を開催。
- ・全教職員が受講できるオンライン研修について充実を図った。

④ 創価教育研究所・世界市民教育研究所の活動

- ・両研究所ともに、研究員（代表教員）による会議と研修会を開催し、諸研究活動の充実を図った。
- ・毎年、全教職員による教育現場での取り組みをまとめ、未来に残す「創価教育の実践」記録集を作成。
- ・創価教育研究所では、創価の教育革命は自分の授業革命からとして、創立精神を学び深め、創価教育の実践に取り組んだ。
- ・創価教育研究所の記録をポータルサイトにアップして学園内に公表。
- ・世界市民教育研究所では、各校・園で取り組んでいる世界市民教育について情報を共有し、一貫カリキュラムの作成を推進した。

⑤ 多様性を認める教育の推進

- ・特別支援教育について理解を深めるため、オンライン研修の受講を導入した。
- ・創価学園として保護者相談室を設置し、保護者の負担軽減を図った。（フリーダイヤル対応）

⑥ 学園50年間の各種資料の収集と整理を推進

- ・創立者指導の整理を推進した。

8. アーカイブ充実

① 創立者関連資料の保全

- ・ 学園内にある、創立者の著書、著作、映像、音声等を厳重に管理（収集及び保全、修復）し、デジタル化することにより半永久的な継承体制を整備している。

② 関連資料の活用

- ・ アーカイブ資料を活用し、学園生に還元できるシステム（検索・閲覧）構築を目指し、検討を進めている。
- ・ アーカイブ資料の修復保全及び保管処理を着実に推進した。